

2023年『資本論』深掘り講座(第7回)ニュース

—科学的社会主義の立場から現代を読み解き未来を探る—

前回の講義内容

■ワンポイント

チャットGPT(対話型AI)が流行しています。もはや人間の知的活動が無くなってしまふかのようです。人間が創り出したものにも拘わらず、人間が支配されてしまうような雰囲気です。しかし、全体を観察し分析し判断して的確に表現できるのは生きた人間の知的能力です。科学的合理的精神(戸坂潤)の形成こそ教育と学習の目標です。

■第3篇 利潤率の傾向的低下の法則

私たちは、第1篇で「剰余価値の利潤への転化、および剰余価値率の利潤率への転化」を学び、第2篇では「利潤の平均利潤への転化」をそして第3篇では「利潤率の傾向的低下の法則」と一步一步積み上げてきました。マルクスそしてエンゲルスの論理展開は見事な芸術作品と言って良いでしょう。第15章では「この法則の内的な諸矛盾の展開」として資本主義的商品生産の歴史的限界と矛盾について語っています。「資本主義的生産の真の制限は、資本そのものである。」(原p260)と断じているのです。まさに資本主義にたいする死刑宣告と言ってもいいとおもいます。

■恐慌と戦争

「恐慌は、つねに現存する諸矛盾の一時的な暴力的解決でしかなく、攪乱された均衡を瞬間的に回復する暴力的爆発でしかない。」(同259)と述べています。それは、「使用価値」と「価値」との根本的矛盾の一時的解決策なのです。資本家にとっては、恐慌と戦争は必要悪であり願望に他ならないのです。どれほど人類の生存と相いれない「みすばらしい基礎」(『経済学批判要綱』)であるかを見抜かねばなりません。

本日の学習 第4篇 「商品資本および貨幣資本の…商人資本への転化」

時間割

13:00~14:00 講義Ⅰ(60分) 14:10~15:10 講義Ⅱ(60分) 15:20~16:20 講義Ⅲ(60分)
16:30~16:55 質疑応答(25分) 16:55~17:00 片付け終了
終了後の質問感想についてはメールでお願いします。 mitioT@outlook.jp

次回

■第8回講座 8月6日(日) 13:00~17:00 ■東京労働会館・地下中会議室(JR大塚駅南口下車徒歩10分) ■「第4篇 商業利潤論(2)」

ご案内

「Daskapital を読む会」

■7月22日(土) 13:00~17:00 ■東京八重洲地下街 八重洲倶楽部:第6会議室
■第1巻24章「いわゆる本源的蓄積」 ■講師 宮川 彰先生

『資本論』第一巻講座

■ガイダンス 7月30日(日) 13:00~17:00 ■本講座 9月17日(日) 開講
■講師 村上 裕先生

以上